

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第284号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年9月2日（水） 13時25分ごろ	
発生場所	和歌山県和歌山市 友ヶ島灯台から真方位241° 1,700m付近 （概位 北緯34° 16.4′ 東経134° 59.1′）	
事故等調査の経過	平成21年9月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 遊漁船 <sup>だいよし</sup> 大良丸、2.75トン 252-7778和歌山、個人所有 B 漁船 <sup>にっしん</sup> 日進丸、2.73トン WK3-16466（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 B 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	A 負傷 1人（釣り客）	
損傷	A 左舷中央部に破口 B 船首部外板に擦過傷	
事故等の経過	A船は、船長が1人で乗り組み、釣り客1人を乗せ、和歌山県有田市沖ノ島南西沖で漂泊して遊漁中、B船は、船長が単独で乗り組み、沖ノ島南西沖を約10.0ノットの対地速力で東進中、平成21年9月2日13時25分ごろ、A船の左舷中央部とB船の船首部とが衝突した。 両船とも自力航行可能で、浸水や油の流失はなかった。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約4m/s、視界 良好 海象：潮汐 ほぼ低潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、沖ノ島南西沖で漂泊して遊漁中、船長Aが適切な見張りを行っていなかったため、B船の接近に気付かなかったものと考えられる。 B船は、沖ノ島南西沖を東進中、船長Bが適切な見張りを行っていなかったため、A船の存在に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、沖ノ島南西沖において、A船が漂泊中、B船が東進中、両船が適切な見張りを行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	